

【様式1】

令和6年度事務事業評価（事後評価）
（令和5年度実施事業）

(令和5年度実施事業)							課 コード	1201	事業 番号	01
事業の概要（Plan・計画）										
部署室名	建設部		課所名	道路総務課		担当名	根岸		連絡先	3511
							事業開始年度	H15	事業終期年度	-
事業名	道水路管理業務費					事業の実施方法	直接実施及び業務委託		事業の分類①	法令等に基づき義務付けられている事務
							事業の分類②	その他		
根拠法令	道路法第16条、第24条、第32条、第42条、第47条の2									
事業内容	道路法に基づく道路占用許可や、道路工事等施行承認、特殊車両の通行許可等の各種手続きなど、道路の適正管理のための業務を行う。 冠水センサー設置工事（企業版ふるさと納税対象事業）…冠水センサーを設置することで、通行止め作業の迅速化につなげ、通行する人や車両の被害の抑制を図る。									

事業の実施（Do：実施）											
			令和4年度 決算		令和5年度 当初予算		令和5年度 決算		令和6年度 当初予算		
			人工	人件費	人工	人件費	人工	人件費	人工	人件費	
事業費等	人件費	①常勤職員	5.77	47,314,000	5.77	48,468,000	6.22	51,626,000	6.22	52,248,000	
		②会計年度任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
		合計A（①+②）	5.8	47,314,000	5.8	48,468,000	6.2	51,626,000	6.2	52,248,000	
	事業費内訳	①国・県支出金	900,000			3,500,000			3,359,000		
		②市債	0			5,500,000			2,200,000		
		③その他の財源	889,056			710,000			9,693,590		
		④一般財源	12,555,824			17,100,000			22,520,695		
		合計B（①～④）	14,344,880			26,810,000			37,773,285		
	総事業費合計（A+B）		61,658,880			75,278,000			89,399,285		
	事業費が増減した理由		令和5年度には、施設改修工事や、冠水センサー設置工事を実施したため。 また、路面下空洞調査業務における調査路線延長の増減のため。								
成果	成果指標	路面下空洞調査				R3年度	R4年度	R5年度	達成度		
	成果指標の説明	路面下空洞調査路線である第一次及び第二次緊急輸送道路の調査対象延長。				目標	18.0km	4.4km	19.0km	A	目標を達成した、または目標を上回って達成した
事業の実績						実績	20.7km	5.9km	21.77km		
		道路法に基づき、道路敷を占有している電気・ガス・上下水道・通信等の道路占用許可や沿道住民の出入口等の設置に伴う道路工事の施行承認、特殊車両の通行許可に関する事務等、道路の適正管理のための業務を行った。 また、大袋駅自由通路を適正に管理するための保守管理業務を行った。さらに、道路陥没事故を未然に防止するため路面下空洞調査業務を行った。 ・路面下空洞調査業務委託 21.77km ・冠水センサー設置工事 50箇所									

事業の評価（Check：見直し）				
評価の視点		評価内容の説明		
必要性	社会的なニーズ	道路法により実施。	委託化の可能性	一部あり
	市が実施すべき妥当性		委託可能な範囲	大袋自由通路の保守管理業務（委託済）
	民間との連携		他市事例	
有効性	事業目的達成への繋が 事業見直しの必要性 ニーズの傾向	道路法に基づき実施しているので、有効性の評価は困難である。		
効率性	活動量の成果 将来コストの見込み 受益者負担の適正度	受益者負担の性質にはそぐわない事業である一方、電気料金や労務費などの上昇の継続が想定されるため、事業費の増加に対応していかなければならない。		
外部評価・包括外部監査の指摘（概要）		-		
上記に対する措置等		-		
事業を実施した上での課題等		申請手続等においては、申請内容が各現場ごとに異なるため、処理時間が一定とはならず、また申請によっては、専門的知識や他課との調整に時間を要することがある。 また、令和5年度に設置した冠水センサーにおいては、令和6年度より本格的な運用開始となり、実際の降雨状況に併せた運用方法などについて精査していく必要がある。		
総合評価		A（事業内容は適切である）		
総合評価の説明		令和5年度中に、申請手続きのオンライン化を進めるなど、事業としては適切に運用していると考えられる。 さらに、冠水センサーの設置位置の検証や、センサー稼働に合わせた水防体制の整理などを行い、水防時における道路の適正管理に努めていく。		

今後の方向性（Action:改革改善）		
今後の方向性	現状のまま継続	
次年度の取組内容	冠水センサーの設置位置の検証や、センサー稼働に合わせた水防体制の整理などを行い、水防強化を図る。	
外部有識者の意見を取り入れる意向	なし	